

2022 幼児心理講習会

8/17
(水)

子どもと親の育ちを 支える保育者 コース

会場 録画配信 詳細は P. 14

別日程

東京

10:00-10:15 オリエンテーション

10:15-11:30 子どもの発育に生活環境・生活習慣が
どのように影響するのか？
—発育期の子どもに必要な刺激について考える—



田中 英登

横浜国立大学教育学部教授
田中教育研究所所員

12:40-13:55 子どもの心を育むしなやかな保育
—doingの保育からbeingの保育へ—



井桁 容子

非営利団体コドモノミカタ代表理事
乳幼児教育実践研究家

14:15-15:30 学びを支える保育者の関わり



高山 静子

東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授

子どもや家庭を取り巻く環境が
大きく変化の中で、
保育現場に求められる役割は
多様化してきました。
子どもと親の育ちに
保育者としてどう関わり、
援助していけばよいか考えます。

高山 静子 先生

保育士、地域の子育て支援を経験後大学教員に。
研究テーマは保育者の専門性とその獲得過程。
著書は『改訂 保育者の関わり方の理論と実践』『学
びを支える保育環境づくり』他。



田中 英登 先生

発育期の子どもに
とって、どのような
環境がからだを育て
てくれるのしょう
か？身体の恒常性
維持機構、適応機構
の観点から解説しま
す。

長年、身体機能への生活習慣と環境の影響につ
いて、幼児から高齢者までを対象に研究を行っ
てきました。日本体育協会や日本生気象学会な
どが策定する、運動時や生活における熱中症予
防ガイドの作成にも関わっています。

出来栄えや成果に
捉われ、比較する
保育から、生きる
ことが楽しく、そ
の人のらしさを活か
す保育に。



井桁 容子 先生

子育てに関する執筆・講演活動やNHK「すくす
く子育て」ほかテレビ出演等、幅広く活躍。42
年の保育士経験に基づく温かなアドバイスは、
育児や保育に悩む大人の心をすっと軽くする。



集団保育での乳幼児
との関わりは、専門
性として身につけ高
めることが可能です。
子どもの学びを支え
るための保育者の関
わりを考えます。

8/18 保育の専門性を高める (木) コース

会場 録画配信 詳細は P. 14

別日程

東京

10:00-10:15

オリエンテーション

10:15-11:30

子どもの自己肯定感を高める保育・子育て



水本 深喜

松蔭大学コミュニケーション文化学部生活心理学
学科准教授

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
こころの診療部

公認心理師 臨床心理士 家族心理士

12:40-13:55

こどもも大人も、自分らしく人間らしく
生きられる場の創造

一生き生き&くつろぎを大切にした保育環境
デザイン



坂本 喜一郎

社会福祉法人たちばな福祉会RISSHO KID'Sきらり
岡本園長

玉川大学・相模女子大学・関東学院大学他非常勤
講師

14:15-15:30

あれ？発達が気になる子どもたち：小児
医学の視点からかわり方を考える



大谷 良子

獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ
診療センター助教



no image

水本 深喜 先生

心理職として、これまで医療、教育、福祉の現場で子どもやその親に関わってきました。親子関係とメンタルヘルス、周産期のメンタルヘルスに関する研究をしています。

ことばの遅れ、落ち着きのなさ、睡眠や食の偏り。あれ？と感じる子どもたちへのかかわり方について小児医学の視点からお伝えします。



no image

大谷 良子 先生

発達障害、心身症、不登校など子どものこころ診療を専門として十余年、小児科医として子どもとご家族に寄り添って子どもの生き生きとした自立を見守ります。

一人一人の子どもの思いや
発達に合わせた関わり、
子どもを見つめ
保育を振り返るまなざし、
これからの保育の専門性について考えていきます。

坂本 喜一郎 先生

子どもを主体に、園内環境に加え、地域資源を活用する保育は大人でもワクワクドキドキする魅力がいっぱい。遊びを通して成長する子どもの姿、保育への熱い思いをワクワク語ります！

遊びをとことん楽しむためには、実は心地よくいくつろぎが大切です！管理するための施設から、生きることを楽しむ園へ成長するための手がかりをお伝えします！



no image

8/19
(金)

子ども・親・保育者の SOSに応える コース

会場 録画配信 詳細は P. 14

東京

別日程

10:00-10:15 オリエンテーション

10:15-11:30 コロナ禍だからこそ見えてきた保育の
原理・原則を考える



汐見 稔幸

一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事
東京大学名誉教授 白梅学園大学名誉学長
全国保育士養成協議会会長

12:40-13:55 人っていいなあー



篠木 里恵

のんきサロンぶひぶひ代表

14:15-15:30 子どもと保護者を地域の中で「まるっと」
支える



堀口 康太

白百合女子大学人間総合学部発達心理学科講師
田中教育研究所所員

子どもや親、
一緒に働く仲間の発する
サインを見逃していませんか？
「おや？」と気づく、ハッとする、
感性のアンテナを
点検してみましょう！



汐見 稔幸 先生

人間は危機を迎える
度に、その危機と向
き合うことで、より
賢くなってきました。
今回、コロナ禍から
何を学ぶべきか原点
に戻って考えます。

専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。
自身も3人の子どもの育児を経験。保育者による
本音の交流雑誌『エデュカール』編集長でも
ある。持続可能性をキーワードとする保育者の
ためのエコカレッジ「ぐうたら村」村長。NHK
Eテレ「すくすく子育て」など出演。

堀口 康太 先生

川崎市職員として必要な保護者やお子さんの支
援に携わってきました。保育園や学校などと行
政機関の連携の大切さを痛感し、関係機関連携
の研究を進めています。



保育園や幼稚園が関
係機関の方と一緒に
気がかりなお子さん
や保護者を支援する
方法を一緒に考えま
しょう！

人は警戒する者でなく
信頼できる者。心温
まる出会いによって
“人っていいなあ”と
実感できる人が増えれ
ばきっと温かな社会に
なることでしょう。



篠木 里恵 先生

多摩の自然豊かな中で、子どものもつ本来の力
を伸ばし、遊びを通じた学びを展開。子どもが
いきいきとのびやかに育つ実践例、保護者との
連携、子育て支援活動について大いに語る。